

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。
メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

URA・社会連携センター
特任助教 春日 博文

昨年の 11 月より URA・社会連携センターに着任いたしました春日博文と申します。どうぞよろしくお願いたします。

前職は電子機器メーカーにて生産技術開発、特許、事業戦略、知財分析に携わってまいりました。生産技術開発時代は、半導体、液晶、水晶、磁石、レンズ、時計等多くの事業と連携しながら歩留まり向上や新しい生産技術の提案、製造ラインの立ち上げなど行ってきました。特許では、アイデア抽出や出願権利化の業務を行ってきました。

中国に出張する機会も多く、中国の活気（日本における高度経済成長時代の活気に似ている）や中国人の向上心の高さを肌で感じることができました。事業戦略では、戦略フレームワークの導入・推進および新規事業の立ち上げを行ってきました。外部調査会社と情報交換する機会も多く、市場動向の把握や情報分析の大切さを経験することができました。知財分析では、組織の立ち上げ、IPL（IP ランドスケープ）の導入、事業戦略・新規事業の分析・提案を行ってきました。また、これらの業務を通して、「鳥の目、虫の目、魚の目、蝙蝠の目」の 4 つの視点を身に着けることができました。この視点を生かして、これからの業務に生かして参りたいと思います。皆様、よろしくお願いたします。

最後に、近年心に響いた言葉を紹介します。それは、「脱皮しない蛇は死ぬ」です。これはフリードリヒ・ニーチェ（ドイツの哲学者）『曙光』 The Dawn of Day（1881 年）からの有名な言葉です。

脱皮するということは、古い自分を脱ぎ捨てて新しい自分に生まれ変わるといことです。それは新陳代謝であり成長です。同じように、人も組織も生きていくために脱皮することが求められる時があります。いつまでも今のままの自分（たち）に安住してはいずれは停滞・衰退へと進んでしまうのです。古い自分を手放し、新しい自分を歓迎しましょう。もしそれが怖いと感じるのなら、この言葉を思い出して勇気を持ちましょう。（以上、「モチラボ」からの引用です）

この言葉を噛みしめながら、自分がこの先も成長できるよう勇気をもって進んでまいりたいと思います。

インフォメーション 目次

- 01： プレスリリース (1 件)
- 02： トピックス (1 件)

- 03: イベント情報 (1件)
04: 事務局からのお知らせ

-
- 01 プレスリリース (1件)

◆繰り返し充電可能な全固体空気二次電池を開発

山梨大学クリーンエネルギー研究センター・早稲田大学理工学術院の宮武健治教授、早稲田大学理工学術院の小柳津研一教授らの研究グループは、水素イオン（プロトン）を可逆的に取り込みながら酸化還元反応する有機化合物とプロトン伝導性の高分子薄膜を組み合わせることにより、繰り返し充放電することができる「全固体空気二次電池」を開発しました。

一定速度（放電速度 15C）における発電実験で、30 サイクル繰り返し高性能化・最適化や耐久性などを改善することで、携帯電話や小型電子デバイスなどモバイル機器用の電源として応用できる可能性があります。本研究成果は、2023年5月16日（火）にドイツ化学会が発行するハイインパクトの学術雑誌『Angewandte Chemie International Edition』のオンライン版で公開されました。

-
- 02 トピックス (1件)

◆タイ・ラジャマンガラ工科大学と山梨大学工学部で学部間交流協定を締結

タイ・ラジャマンガラ工科大学イサン校と本学工学部で学部間交流協定を締結し、令和5年5月16日（火）に締結式を挙行了しました。今後、本協定により、教職員・学生合わせて年間10名程度の交流を予定しています。学生が国際的な視野を獲得する貴重な経験と将来のキャリアへの見通しを得ることや、直接的及び間接的な共同作業（技術・文化交流）を通じて、国際交流を体験することにより、学習の活性化・強化が期待されます。

-
- 03 イベント情報 (1件)

◆「第32回アカデミックサロン」開催のご案内

今年度最初のアカデミックサロンを開催いたします。今回は会場での開催と併せてWeb配信を行うハイブリッド開催となります。

日時：令和5年6月28日（水） 14:30～16:15（予定）
形式：会場）山梨大学甲府東キャンパス 情報メディア館
Web）Zoom

講演：「人工衛星の小型化や電気推進ロケットによる宇宙利用拡大」 工学部機械工学科 青柳潤一郎准教授

詳細が決定次第、ご案内いたしますので、お知り合いの関連企業様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

-
- 04 事務局からお知らせ

今年度の会費請求書を5月15日に郵送させていただきました。お手数をおかけいたしますが、今月末までに納入いただきますようお願い申し上げます。
請求書がお手元に届いていないという会員様はご連絡ください。

◆技術課題等、ご相談について

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。
会員会社様の持つておられる技術課題を伺います。
ご希望の会員様がございましたら、事務局までお気軽に連絡してください。

■

- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

■ □ ■

■ □ ■